

第57期 報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで



日本のすべての屋根に防災瓦を

株式会社 鶴 弥

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに、第57期報告書(2023年4月1日～2024年3月31日)
のご報告を申し上げます。

〈経営理念〉

強く美しく、取り扱いやすく、
値打ちちて、より安全な、屋根材を提供する。



代表取締役社長 鶴見 哲

経営に関するQ&A

◆鶴弥の現状と今後の課題、その対策についてお聞かせ下さい。

2024年3月期における当社を取り巻く経営環境としましては、世界的な情勢不安が資源・エネルギー価格の不安定化を招くとともに、先進国を中心とした金利政策の結果、日本国内においてインフレ高進と円安による物価高が実質賃金の減少を引き起こす等、厳しい状況が継続することとなりました。

このような環境下、当社としましては適正な利益水準を確保すべく販売価格の改定を実施し、その浸透に注力いたしました。しかしながら、国内の住宅事情は、住宅価格上昇の一方で、個人の所得環境や今後の景気動向の先行き不透明感から消費者マインドが低下し、需要そのものが減少した結果、売上高は減収となりました。

製造面では、原材料や鋼材、木材、石油製品や運送費の上昇といったコスト増加があったものの、人員配置の見直しや、エネルギーの効率的利用の促進等の対策を行った結果、前事業年度の営業損失計上から一転、営業利益の黒字回復を達成しました。また、次の展開としてAI技術を活用した粘土瓦の外観自動選別(2頁目写真参照)の実用化を図る等、現状に満足することなく引き続き自助努力を進めてまいります。

今後につきましては、新たに中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)を策定し、「挑戦～未来と自分を変えられる～」をビジョンとして、①粘土瓦事業の進化と深化、②陶板事業の拡大、③新領域への挑戦、④経営基盤の強化、の4つの行動指針を定めました。加えて、2024年7月から製商品価格の改定を予定しており、適正な価格水準の維持に努めるとともに、屋根周辺副資材や金属屋根材等の商品の取り扱い拡充、一層のコスト削減や資産の有効活用を進め、利益体質の改善を図っていく所存であります。

また、当社の置かれている市場環境は、引き続き予断を許さない状況にあり、動向を注視するとともに、経営管理体制の強化を図り、柔軟で迅速な経営判断を行ってまいります。

これら戦略を着実に進捗させる一方、陶板事業をはじめとした新事業や研究開発活動等の先行投資は積極的に行い、引き続き長期的な視点での企業経営に邁進してまいります。

◆持続可能な社会の実現に向けた取り組みについてお聞かせ下さい。

現在、地球規模の持続可能性について世界的に危機意識の共有が進む中、企業は事業活動そのものを通じて、社会、経済、環境といった多様な側面の課題解決を図るべきであるという考え方から、特に「持続可能な開発目標（SDGs）達成への取り組み」に注目が集まっております。

このような社会的要請を受け、当社は、持続可能な開発のために国連が定める国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」について、当社の指針となる鶴弥のサステナビリティ・ビジョンを次のとおり定め、その実現に向けて活動を推進しております。

鶴弥のサステナビリティ・ビジョン

当社は、国民生活の基盤である「住まい」に関わる企業として
安心・安全な製品を皆様にお届けするという事業活動を進め
同時に、ジェンダー平等や自然環境への配慮といった項目を中心に
従業員をはじめとしたすべてのステークホルダーからの期待に応えることで
持続可能な社会、循環型社会の実現に貢献します

達成に向けての具体的項目

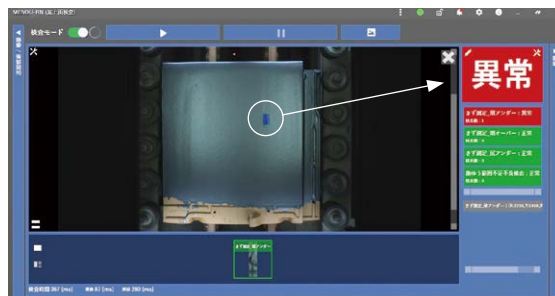
1. 鶴弥は日本の住文化を守ると同時に、安全かつ強靱（レジリエンス）な住居の提供に貢献します
2. 鶴弥はジェンダー平等を達成し、安全で働きがいのある職場づくりを進めます
3. 鶴弥は生産活動における環境への影響を低減し、低炭素社会の実現と地球環境との共生を進めます
4. 鶴弥は限りある天然資源の有効活用、循環型社会の構築に貢献します

2024年3月期における活動

2024年3月期においては、このサステナビリティ・ビジョンの達成に向け、日本の住文化を守ると同時に、安全かつ強靱（レジリエンス）な住居の提供に貢献するという側面から、2023年10月に建築家、建築・設計関係者様と当社とをつなぐWEBメディア「ヒトツチ」の開設を行いました。また、限りある天然資源の有効活用、循環型社会の構築に貢献するという側面から、同じく2023年10月にアップサイクル型の粘土瓦（いぶし瓦）を企画・発売いたしました。



外観自動選別装置 外観



検査用AIプログラムによる規格外品検出の例

トピックス

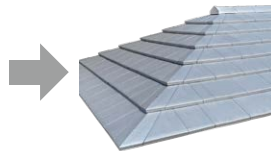
1. アップサイクル型粘土瓦 (いぶし瓦) の発売

従来はロスとして処理していた製品を『アップサイクル』することに成功いたしました。

当社の主要な生産設備である焼成窯(トンネルキルン)は24時間の連続稼働をしておりますが、火を止めるメンテナンスが年間数回は必要です。メンテナンス後、生産条件まで昇温させる際に焼成が不完全な製品ロスが発生します。製品ロスは粉碎して粘土原料に混ぜるリサイクルをしていますが、今回「いぶし瓦」の製造企業である創嘉瓦工業株式会社(愛知県高浜市)との共存共栄の取り組みにより、当該製品ロスを再焼成し、より付加価値のある製品「スーパートライ110スマート 純いぶし」として発売を開始いたしました。



窯昇温時のテスト製品(従来は製品ロスとして処理)



アップサイクル後の製品



持続可能な開発目標 (SDGs) 達成への取り組み

2. 元旦リルーフメンバーズ加盟及び関連商品取り扱い開始

元旦ビューティ工業株式会社(本社:神奈川県藤沢市、上場区分:東京証券取引所 スタンダード市場)の「元旦内樋(住宅用)」「断熱ビューティルーフ2型(住宅用横葺き金属屋根)」等製品を取り扱います。

顧客の多様なニーズにお応えすべく、主力である粘土瓦製品の他に、屋根周辺副資材や金属屋根材等の商品の取り扱いを拡充し、粘土瓦とともにワン・ストップでご提供してまいります。



元旦内樋(住宅用)、断熱ビューティルーフ2型(住宅用横葺き金属屋根)施工物件

3. WEBメディア「ヒトツチ」開設

ヒトツチとは

建築について、その素材と地域文化との結びつきを探求するWEBマガジン。

瓦のリーディングカンパニーである鶴弥が伝えたい、場所と素材と建築の関係性、世代を超えて受け継がれる火と土の恵み。そのさらなる発展のために、古いと思われがちな瓦という建材について、現代の建築家たちがどのように感じ、どのような活用に取り組んでいるのか。寄稿、インタビュー、トークイベントなどの方法で、瓦についての様々な思考を広く共有していきたいと考えています。

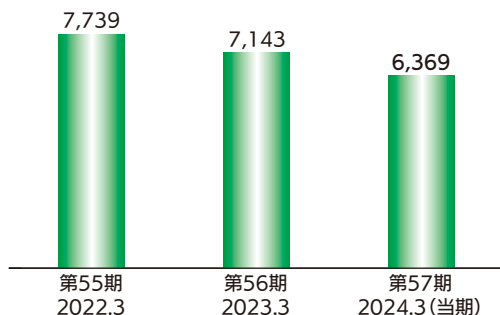


<https://hitotsuchi.media/>
※ URL からアクセス、または、QRコードをスマートフォン・タブレット端末で読み取っていただくことができます。

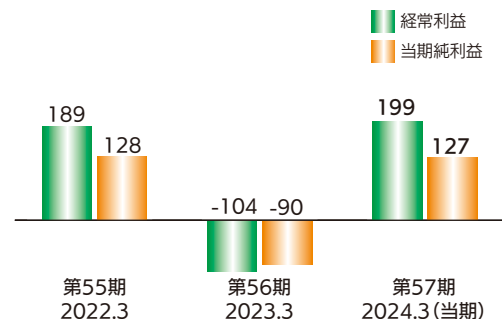


財務ハイライト

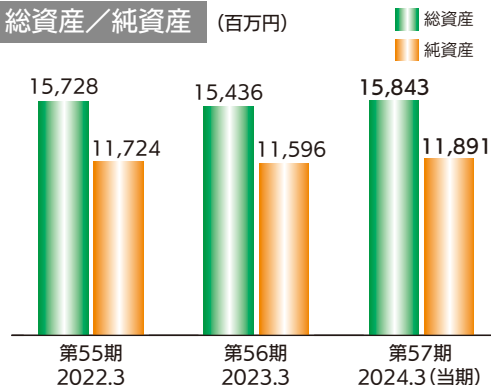
売上高 (百万円)



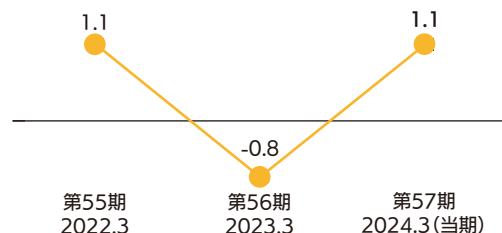
経常利益／当期純利益 (百万円)



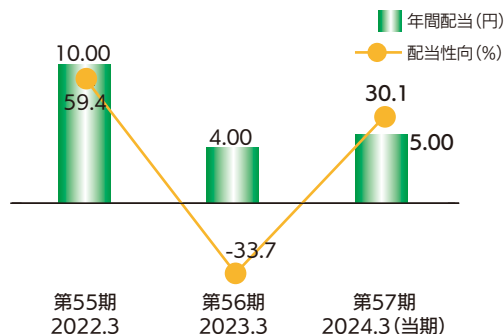
総資産／純資産 (百万円)



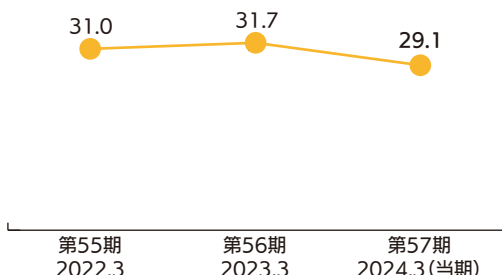
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)



1株当たり配当金／配当性向



当社の全国シェア※1 (%)



※1: 当社の全国シェアは三大産地(※2)の合計に対するシェアのことを言います。 ※2: 三大産地とは三州瓦(愛知県)、石州瓦(島根県)、淡路瓦(兵庫県)を表します。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第56期 (2023年3月31日現在)	第57期 (2024年3月31日現在)
流動資産	3,937,306	4,275,710
固定資産	11,499,139	11,567,994
資産	15,436,445	15,843,704
負債	3,840,041	3,952,020
純資産	11,596,404	11,891,683

損益計算書

(単位:千円)

科 目	第56期 (自 2022年4月 1日) (至 2023年3月31日)	第57期 (自 2023年4月 1日) (至 2024年3月31日)
売上高	7,143,051	6,369,045
売上総利益	1,420,651	1,622,625
販売費及び一般管理費	1,648,731	1,519,262
営業利益または営業損失(△)	△228,080	103,362
経常利益または経常損失(△)	△104,982	199,845
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△104,982	199,845
当期純利益又は当期純損失(△)	△90,954	127,345

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	第56期 (自 2022年4月 1日) (至 2023年3月31日)	第57期 (自 2023年4月 1日) (至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△52,289	661,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335,731	△156,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,573	△38,373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△443,595	466,799
現金及び現金同等物の期首残高	1,615,180	1,171,585
現金及び現金同等物の期末残高	1,171,585	1,638,385

株式の状況 (2024年3月31日現在)

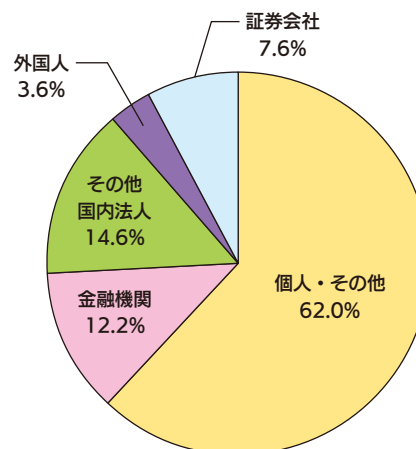
発行可能株式総数 25,000,000 株
発行済株式の総数 7,767,800 株 (自己株式112,916株を含む。)
株主数 2,057 名

大株主(上位11名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
鶴見哲	1,551	20.2
有限会社トライ	727	9.5
株式会社三菱UFJ銀行	308	4.0
株式会社商工組合中央金庫	308	4.0
遠山和子	233	3.0
株式会社SBIネオトレード証券	208	2.7
水元公仁	205	2.6
南條宏	180	2.3
株式会社石川時鐵工所	135	1.7
岡崎信用金庫	132	1.7
細井芳美	132	1.7

(注) 持株比率は、自己株式(112,916株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布



会社概要 (2024年3月31日現在)

商号 株式会社 鶴弥

TSURUYA CO., LTD.

設立 1968年2月

事業内容

- 粘土瓦の製造および販売
- 屋根工事の請負および施工
- 陶板壁材の製造および販売
- 建築資材の開発および販売
- 金型の設計、製作、加工、保守および販売
- 前各号に付関連する一切の事業

資本金 21億4,413万円

従業員数 350名

役員 (2024年6月21日現在)

代表取締役社長 鶴見 哲
常務取締役 満田 勝己
取締役 角森 一夫
取締役 根崎 尚樹
取締役 高垣 俊壽
常勤監査役 松本 俊介
監査役 鶴見 秀夫
監査役 高須 光

(注1) 取締役高垣俊壽氏は、社外取締役であります。

(注2) 監査役松本俊介氏及び鶴見秀夫氏は社外監査役であります。

事業所

本社及び本社工場 〒475-8528
愛知県半田市市の崎町2番地12

西尾工場 〒444-0325
愛知県西尾市楠村町南浜屋敷16番地1

衣浦工場 〒475-0032
愛知県半田市潮干町1番地1

阿久比工場 〒470-2215
愛知県多郡阿久比町大字矢高字西の台1番地1

北陸支店 〒932-0136
富山県小矢部市平田3102番地

仙台営業所 〒983-0013
宮城県仙台市宮城野区中野5丁目3番地の35

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催（決議ご通知につきましては、定時株主総会后に当社のホームページに掲載します。）
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社のホームページに掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	https://www.try110.com
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL (0120)782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店でっております。
単元株式数	100株

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

当社ホームページの
ご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆様に当社を知っていただくための各種情報を発信しております。是非ご覧ください。

<https://www.try110.com/>



※URLからアクセス、または、QRコードをスマートフォン・タブレット端末で読み取っていただくことができます。